

2023年度事業報告

(2023年4月1日から2024年3月31日)

当財団の2023年度の事業は、コロナ禍の影響による収益の減少もなく、昨年度と同等規模の奨学金給付事業が実施できました。また、国際交流支援事業について初めて3件の応募があり採択しました。

1. 事業

(奨学金給付事業)

学業優秀、品行方正でありながら、経済的理由により修学が困難な兵庫県出身又は兵庫県内の学校に在学中の高校生、大学生及び大学院生に対して、奨学金を給付する。

【高校生】

- ・高校生は、2023年4月上旬に10校の兵庫県立高等学校に奨学生募集要項を郵送し、第1学年を対象として奨学生を募集しました。
- ・7校より12名の推薦があり、選考の結果、当初計画より3名少ない第1学年12名の奨学生を決定しました。
- ・前年度第1学年15名、第2学年14名については各学校長より、転校、休学、退学及び著しい成績の降下等もなく其々第2学年、第3学年に進級する旨報告がありました。ただし、神戸高校の3年生1名が10月に退学しました。
- ・高校生は、合計41名に一人当たり月額15千円の奨学金を給付し、中途退学もあったことから給付額は7,290千円となりました。

【大学生、大学院生】

- ・大学生、大学院生は、2023年4月上旬に大阪大学、神戸大学、兵庫県立大学の応用化学(化学工学)系学科に募集案内を送付しました。
- ・3大学より13名の推薦があり、選考の結果、大学生第4学年5名、大学院生第1学年2名、2学年6名の奨学生を決定しました。
- ・大学生、大学院生は、大学院第2学年に進級した5名と合わせて計18名に一人あたり月額30千円の奨学金を給付し、給付額は6,480千円となりました。

【奨学金給付の累計】

2023年度の奨学生高校41名、大学18名、奨学給付金総額13,770千円となった結果、財団設立以来の累計は、以下のようになりました。

延べ奨学生数 : 高校生は845名、大学生・大学院生は332名
給付総額 : 269,630千円

(国際交流支援事業)

国際交流支援事業について、今年度は、各大学から1件(計3件)の応募があり、選考委員にて審査の結果、研究集会の規模、内容等に問題がなく採択されました。

申請者 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 山本紗玖楽さん オーストラリア
神戸大学大学院工学研究科応用化学専攻 簗島奈生さん カナダ
兵庫県立大学大学院工学研究科化学工学専攻 高井貴宏さん ベトナム
以 上

事業報告書に係る附属明細書

特段記載する事項はありません。

以 上